

今号のわだい

- 【1面】第31回幹部・看護師集会、10・19銀座アピール・秋闘集会
- 【2面】記念講演、鈴鹿厚生病院祭
- 【3面】労安活動④、分散会インタビュー

全厚労ニュース

全 国 労働組合連合会
 厚生連
 〒110- 東京都台東区入谷
 0013 1-9-5
 TEL 03-3874-3591
 FAX 03-3874-3593
 発行日 毎月20日 定価 30円
<http://www.zenkouro.org/>

私らしく働き続けるために

第31回幹部・看護師集会in伊東



急性期内科・地域包括ケア病棟で働くスタッフが集まった第4分科会のみなさん

10月27～28日、静岡県伊東市のホテル聚楽にて、「第31回幹部・看護師集会」を開催し、16県140名が集まりました。集会のテーマは「見つけよう！私らしい働き方」。記念講演や分散会を通して、学習と交流を深めました。

全厚労看護委員会では、3ヶ年計画の1年目の取り組みとして、看護現場の実態把握を行う事を目的に、加盟組織へ「看護職員の実態調査」への取り組みを呼びかけました。この調査は、医労連が1988年に始め、5年に1度実施してきましたが、「医療提供体制改革」「地域医療構想」や、2018年の「診療報酬・介護報酬ダブル改定」を控え、1年繰り上げて行われました。集会では、実態調査の調査・分析に協力して頂いた、

佐々木司氏（労働科学研究所）を講師にお呼びし、「看護現場実態調査から見えるもの。看護の働き方を変革する」と題した記念講演を行いました。（詳細は2面を参照）また、茨厚労から「16秋闘での年末一時金闘争、地域医療を守る闘い」の特別報告も行われました。

県を超え活発な議論を

主催者挨拶で、安田将基看護委員長（秋厚労）は、「普段一つのところに看護職が大勢集まる機会はなかなかありません。この集会では、全国各地から集まっているため、午後から行われる分散会では、同じテーマでも、職場や県によって働き方の違いがたくさん収穫できる会になると思います。私自身、毎年この集会でたくさんの発見をしてきました。積極的に参加者の皆さん

職場ごとに交流 私らしい働き方を見つける

と交流して頂き、明日には、また来年も来たいと思っただけであれば幸いです」と、県を越えての議論と交流を呼びかけました。全体会後は、職場別に5つの分散会を設定。「働き続けられる職場作り」をテーマにグループワークを行いました。看護委員会では、参加者が参加してよかったと思えるよう、ファシリテーションやKJ法等、これまでの委員会で学習し、企画・準備に取り組んできました。各分散会では、工夫を凝らしたテーマや、同じ職場だからこそ見出せる解決策や取り組みなど、深く交流と議論がなされ、活発な分散会となりました。（3面に分散会インタビュー）

今回の集会で得たデータや知識、県や職場を越えて交流し、学んだ取り組みや解決策を、自県での取り組みに活かしていただければ幸いです。そして、全厚労の集会の場でフィードバックして頂けることをお待ちしております。

銀座で職場実態を訴え 権利の主張と学習は、継続して事こそ力



銀座でアピール

者全員が集結し決起集会。畑中剛喜中央執行委員長のおいさつの後、広島県労働者学習協議会事務局長の山根岩男さんより、「労働組合、今が頑張りどころ！真理は必ず勝利する」と題し、憲法や労働者の権利、労働組合の基本や果たす役割等について学びました。権利を主張する」という事、うしろめたさ、悪いことをしているかのような風潮ですが、決してそうではなく、主張して当たり前!!。自主性を尊重し、より一層の団結の強化をはかる（経営者側が最も恐れている事）、たたかってこそその労働組合。その中で、私たち医療従事者として、地域の医療、国民のいのちと健康を守るために、国、県が医療・介護にどれだけ予算をつけてもらえるのか、どこを充実させていくのか、しっかりと掲げた要求と一致する政党と協力・共同を

10月19日、例年行われていた「憲法・いのち・社会保障ももる10・19国民集会」が中止されたことを受け、全厚労は、独自の行動に切り換え、銀座アピール行動（街頭署名宣伝）と「全厚労17秋闘・学習決起集会」を開催しました。改めての参加要請でしたが、全厚労全体で13県86名の参加となり、10・19への関心の高さ、団結への意志を強く感じました。

午前中は雨の降る中、有楽町駅マリオン前にて宣伝行動を行いました。参加者を代表して、福厚労・齋藤文子さん、長厚労・土屋亮さん、三厚労・小林宣子さん、広厚労・富永みち子さんが職場・看護の労働実態を訴えると同時に、プラカードや横断幕を持ってスタンディングアピールをしました。午後には近くの会議室に参加



アピール行動を終えマリオン前で集合写真

松尾晃書記長より、17秋闘行動提起が提案され、4県から秋闘の決意表明や訴えがありました。悪天候が残念でしたが、全厚労独自で決起集会が開催できた事、予想以上の参加者が集まった事は良かったなと感じました。参加された皆様お疲れ様でした。（教宣部・春原）

看護師が本来したい看護のために 看護実態調査からみる傾向と改善について

第31回幹部・看護師集会 記念講演

記念講演は大原記念労働科学研究所・上席主任研究員で学生時から30年以上「睡眠」を研究している佐々木先生から、「看護職員の労働実態調査」結果を基に「全厚労の傾向と改善」についてお話いただきました。

勤務間隔をなくしている2交替

全国でも増加傾向のある2交替制夜勤。全国での交替制勤務における2交替の割合は21・0%、全厚労28・7%とやや高い結果となりました。2交替勤務は夜勤に関する勤務間隔時間が長く、夜勤時間も長いというのが特徴です。3交替で準夜8時間・深夜8時間であれば夜勤の間隔は16時間以上ありますが、2交替は準夜・深夜の勤務間隔を0時間にし、あとの勤務間隔につけていたため長い勤務間隔を得たように感じます。

長時間夜勤と眠気のリスク

しかし長時間労働の問題は根深く「人間は生体

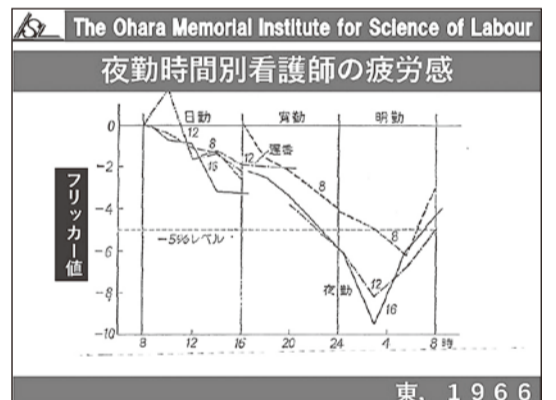
リズムに支配されており、長時間労働をすると安全度の問題に係る」と佐々木先生は指摘。日勤の生活をしていて夜勤をする「昼働き夜眠る」リズムで眠くなり、また起き続けていると眠たくなる、16時間夜勤をする

正循環をうまく取り入れる

人間は後ろにずれる勤務時間のほうが身体に優しく、正循環は診療報酬の算定に入るほど生活・健康・安全を豊かにします。しかし、正循環シフトでは連続休暇がとれないといった事もあり、逆循環にしがち。佐々木先生。8回の夜勤すべてを正循環にしないと半分だけ、有休を使ってなど、正循環による効果を得やすい層から取り入れてみることも提案されました。

職場のメンタルヘルス気をつける

看護労働実態調査では「仕事を辞めたいと思うか」に対して「いつも思う・ときどき思う」の回答が全国では74・9%であることにに対し、全厚労では78・2%と高い結果に。理由として「人手不足で仕事がつつい(49・6%)」、「賃金が安い(42・0%)」、「思うように休暇がとれない(37・5%)」と上がっています。その一方で「メンタル障害で



東、1966 マイナス5%以下は「酸素の少ない部屋での生活」に相当

労43・3%となり、厚生連はメンタルヘルスのない良い職場なのか、というところ

看護労働の認識をもつ

最後に、佐々木先生は「本来の看護は自分を尽くす無償の行為で、やればやるほどできることである、それを病院でやるうとすれば仕事が過剰になつてしまふ。やる看護と、やらない看護を分けなくてはいけない」と発言。交替制勤務は残業がないことが基本で、日勤で残った仕事を準夜にバ

が気づけるかどうかも重要なポイントになると話されました。

トントタッチできることがメリットであり、本来ならば看護管理職が平等化しなくてはいけないことだと話され、組合を通じてJOBの平等化・整理を訴えるよう呼びかけました。また看護師は看護労働者であり、看護は一人の無償の行為であるが、看護労働は社会から認められた活動で平等であるべき、他職種とのワークシェアで仕事を抱えてしまふのではなく、JOBを平等化することによって看護師本来がしたいと思っている仕事ができること話されました。

三重 秋の病院祭、地域・患者とともに

三重・鈴鹿厚生病院では10月14日に「第28回病院祭」を開催しました。病院主催の催しとして亀

病院祭当日は、悪天候で急遽開催場所の変更等もありましたが、入院・外来患者さん合わせて約150名、地域の方々も約180名ほど来院され、病院祭を楽しんでもらい

ました。病院祭は、鈴鹿厚生病院と三厚労(鈴鹿支部)とで「共同開催」しており、鈴鹿支部では例年もちつきを行なっています。ついたお餅は来院者へ無

料で振る舞い、地域の方々からも大変好評を頂いています。もちつきには、三厚労中央執行委員長や、他の支部組合員も自主的にお手伝いに来ていただきました。病院祭も一つの組合活動として捉え、今後大切に行事していきたいと考えています。



ジョークも交えながら話される佐々木先生



子供に人気の亀レース



もちつきの様子(昨年度)

進めよう！ 労働安全衛生活動

4

前回に引き続き、ある病院の取り組みを紹介します。委員会では、産業医の巡視前に「職場環境チェックリスト」で、30項目のチェックを職場毎に行ってもらい、提案に活かしています。

「職場環境チェックリスト」のチェック項目

※3段階+α(良・可・不良、備考あり)で判定

日勤帯の病室の照明。ナースステーションの照明。日勤帯の病室の換気。ナースステーションの換気。その他の職場の照明。その他の職場の換気。静音性は保たれているか。室温の適切な管理は。記録等を記入する環境。パソコン等の使用環境。職場の腰痛対策。個人の腰痛対策。腰痛に対するケアや治療。職場の感染予防対策。針刺し事故予防対策。職場の手荒い環境整備。転倒・衝突の予防対策。休憩室の環境整備。休憩時間の休憩状況。職員ロッカー等の環境。職員用浴室の環境状況。労働時間の実績の把握。超過勤務の適切な記入。健康診断の受診状況。健康問題の相談状況。心のケアへの配慮。疾病の発生に対する対応。安全衛生への職員の関心。

重量物の運搬状況。長時間の同一作業の実施(この2項目では、「無し・時に・高頻度」で判定)

言いたい劇場

小菅りや子



●委員会の運営心得として・労使交渉の場とはしない

委員会では、「和やかに全員で議論すること」を大切にし、使用者側委員を責めるのではなく、

議論や論点を分けて、労使で改善方法を考える委員会とした。産業医が何もしないのではなく、産業医が活動できるように育てるのは私たち委員会次第だと考えた。

夜勤時に「休憩休息」

●ニュースの作成

委員会での審議内容は、議事録だけに留めるのではなく、「安全衛生ニュース」等として、委員会活動を全職員へ知らせている。

幹部・看護師集会 参加者インタビュー

職場別での分散会毎に5名の方にインタビューしましたので紹介します。

第1 急性期外科等

谷口明華さん (岐厚労久美支部)

組合の看護委員になって初めての参加で、佐々木先生の講演も初めて聞くような事もあり、勉強になりました。色んな県の方とお話することで、うちの病院で問題になっていることが他の病院でも抱えているんだと分かって、安心したというわけでは無いですが、労働組合でもっと働きかけていけたら変わるんじゃないかなと思います。

第4 内科・地域包括ケア

吉村むつみさん (岐厚労東濃支部)

今年、岐厚労本部看護委員長になって参加しました。過去に浜松であった集会以来です。本当に何も分からない状況でしたが、佐々木先生に「看護師は働きすぎです」と言われて、ああそうだったんだ！と初めて思ったくらいでした。看護師は××年やっています、病院も一つしか経験してないので、他県の状況を聞いて色んな事を知ることが出来ました。私のグループでは、政

第2 急性期外科等

私たちが青年が 広めていかなきゃ



佐藤有香さん (茨厚労土浦支部)

集会には初めてですが、青年部の人たちを誘って参加しました。病棟を2年半程やって、いま保健師として働く中で、職員全体の健康や職場改善が必要と考えるようになり、先輩たちや他県の情報を知りたいと思って来ました。

第3 回復期・療養型等

次回の集会で 成果を知りたい



前野明子さん (三厚労鈴鹿支部)

初参加です。今年度、支部の看護委員長になり、三重で毎年開催している看護師集会の参考になれ

わってきました。また今回、得た知識や対策案を皆さんが各県に持ちかえり、どのように取り組んで、どのような成果や結果が出たのかを、次回の集会で聞きたいと思いました。

第5 外来・オペ室

手術室にも 手当支給させたい



池西智哉さん (香厚労屋島支部)



左より 岐厚労 堀恵実子さん(看護委員)・谷口明華さん・吉村むつみさん

今回、看護師が持つ多くの問題を知る機会になり、自分の勤める病院が抱える問題解決のヒントを参加者の仲間たちからもらえたらと思います。

他の集会でもそうですが、グループワークは思ったことを言えて、想いを共有できる場なので大好きです。 学校や実習でも2交替しか知らず、病院でも2交替だったので、佐々木先生の話を聞いて、夜勤の有害性についてはしっかり考える必要があると思いました。 就職して、職場委員をじやんけん決めてたのをきっかけに支部副委員長をやりました。大変な16秋闘も経験し、今年、県の執行委員になって、やはり自分の周りに留まらず、外へ出て、色んな所の先輩たちに学んで、同世代にも広めていかなきゃと感じています。

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第126回は北海道と山口にお願いしました。



北海道 後藤充さん(写真右上)

真っ白な雪がチラホラ舞い始めた北海道からは、7月の定期大会で中央執行委員長に就任した後藤充先生を紹介いたします。定期大会での新役員挨拶では「前赤羽中央執行委員長の想いを引き継ぐ」と明言され有言実行中です。2001年から旭川厚生病院に勤務され、第1消化器科主任部長として患者さんの治療に追われる日々の中、札幌で開催される常任執行委員会にはお誕生日を迎える常任執行委員へのプレゼント（家族の皆様へ）を持参してくれ、「役員活動を支えてくれる家族への感謝を忘れないように」との言葉が添えられています。家族構成は看護師の奥様と、高校3年生の息子さん、高校1年生の娘さんの4人家族で、雪が融けたらロードバイク、雪が積もったらスノーボードと北海道の四季を楽しみ、奥様と二人で好きなアーティストのコンサートなどにも出かけられる後藤中央執行委員長を紹介させていただきました。

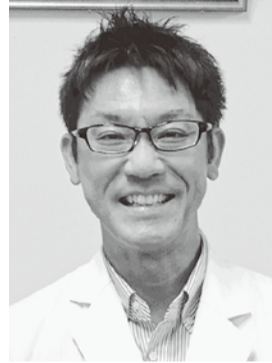
山厚労から自他ともに認める「育メンパバ」、弘中聖彦さんを紹介します。

放射線技師として真面目で優しい人柄は職場の皆さんの信頼も厚く、また執行部に入って3年目。彼を表す言葉は「ま・じ・め」の一言。

家庭では看護師をされている美人の奥様と男の子ばかりの3人のお子様と関わられた幸せ者です。家事も子育ても奥様と分担、協力しながら日々こなしていらっしゃいます。

そばで見ていた私たちがさえ、頭が下がる「育メンパバ」ぶりです。世のお父様方に少しは見習って頂きたい…と感じるのは私だけでしょうか？

組合員からの相談には真摯に耳を傾け、すぐに事務長・看護部長にアポをとる行動派で、仕事にも組合活動にも燃えるような真っ赤な闘志でこれからも頑張ってくれと思います。もちろん野球はカープファン!!以上、山口のホープ 弘中聖彦さんでした。



山口 弘中聖彦さん

読者の声

秋といえば松茸。子供の運動会で遠方から来てくれる両親たちへ松茸をご馳走しようと企画中です。両親が喜ぶ顔を思い浮かべ、空になる財布を慰めています。(長野)

— 遠方の祖父母が見に来るとなると、お子さんのテレシジョンもアゲアゲ。どちらの笑顔もプライスレスですね！(YS)

— 愛されるよりも、愛したい、マジで！こんなフレーズが頭の中にでてきちゃいました。僕もそういう人になりたいと思う11月1日の夕方でした。(TM)

— まさにその通りだと思います。ただその前に、我々はプロとして無駄を省き、効率的な業務遂行の上で、誇りを持って時間外手当を請求し、当然の賃金としていただくものだと考えます。(SZ)

— 生連病院の役割としても地域との関わりが大事ですね。(SN)

— 時間外労働の常態化は問題だと思います。働いた分の賃金をいただけることが、働く意欲につながると思います。(長野)

— 労働者の生活と権利を守る事も大切だが、地域とのかわり、地域に信頼されること、地域住民との連携も重要な事を再認識しました。(富山)

— 農村地区の医療を充実させる事が原点であり、厚

聞かせて・教えて!のコーナー

☆9月号で募集した「聞かせて・教えて」結果発表☆

質問1 9月号で一番興味があった面は？

1面「第65回定期大会」が7票で最多、2面、4面が4票で2番目に多い回答となりました。

質問2 「12月」と言えば？

「ボーナス」が9票で1番多い結果に。クリスマスも7票と僅差でしたが、やはり組合活動ではボーナスでしょうか。

クリスマスに欲しい「プレゼント」

美顔器、温泉宿泊券、ご馳走、財布、キーケース、チェキカメラ、ノートパソコン、欲しいものは皆さん様々ですね。全厚労本部にはサンタは来るでしょうか…。

さて、今回の「聞かせて・教えて!」は

質問1 11月号で一番興味があった面は？

A=1面 B=2面 C=3面 D=4面

質問2 ○ミニクイズ○ 日本の祝日は何日？

A=13日 B=14日 C=15日 D=16日

意見・要望 最近の身近なニュースは？

読者の声もお待ちしています

クロスワードの投稿だけでもOK

QRコードを読み取って、投稿サイトにアクセスするか、以下のメールアドレスに空メールを送って下さい。

kikasete@zenkouro.org

質問フォームに、必要事項を記入して送信して下さい。氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。投稿数に応じてポイントが貯まります。投稿締切 投稿・パズルとも11月末まで。

教宣部のつぶやき

喘息のため運動に消極的な息子。小学4年生になりバドミントンに週2で始めて半年。準備運動のランニングも積極的にいい、運動する楽しさに気付いた。先日の実家の町内運動会で町内1週間のミニマラソンがあった。驚くことに自ら出場を志願し、歩くことなく走り切った。タイムは遅くても走り切ったことに感謝。子供の成長を実感すると共に、これからも彼に期待したい。(YS)

ザククロスワード

出題▶モロゾミ勝

答	A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---	---

1	2	3	4	5	A
6	D	7	8		
9	10	11	12		
13		14		15	E
16		17	B	18	
19				20	21
22		23	F	24	25
26			C	27	

- ヨコのカギ
- 富士山は3776m
 - ユズ湯に入ります
 - イヌと仲が悪い動物
 - 始まりは「起首」終わりは何？
 - 白・黒・茶の交った毛
 - 易者の仕事
 - 手品のしかけを公開
 - 雄……は銀、沈黙は金
 - マイ……。パト……
 - 知識や教養のある人
 - サインや絵をかく厚紙
 - 走行……。遠……。通勤
 - 熱帯……。深海……
 - 太陽が見えない時間帯
 - もちつきの道具
 - おもちゃのことです
 - 陸地と水上も走ることができる……両用バス
- タテのカギ
- 雨の日の必需品
 - クリスマスのころ各地で見られる電飾
 - 刺身のそばに添える海藻や野菜のことです
 - 書物の見返しの次の頁
 - 機で仕事します
 - 郵便・電話・電話など手当て。ヘア……
 - アフター……
 - 食卓に奉行為登場することもあります
 - とびが生むことでもあります
 - 字画をくずさない書体
 - ……は本能寺に在り
 - 危険。営業上の……
 - 鳥獣人物……の絵巻物
 - ……番電話に録音